

多文化共生フォーラム あいち2011

外国人の定住化が進み、コミュニティでの相互扶助や日本人との交流、社会活動への参加が広がっています。在住外国人からの社会参加・地域貢献に焦点を当て、外国人自助組織支援など多文化共生に関する幅広い活動を行う吉富志津代氏による講演や、東日本大震災後にフィリピン人被災者支援に取り組んだサギップ・ミгранテ・ジャパンの活動報告を通して、多文化共生社会づくりを考えます。

テーマ 地域で活躍する在住外国人

日時 **2012年1月29日(日) 13:30~16:30**

場所 **ウィルあいち**

定員 **250名(先着順/入場無料)**

申込方法は裏面をご覧ください。

プログラム

- ◆ 多文化共生推進功労者表彰
- ◇ 多文化共生作文コンクール優秀作品表彰・朗読
- ◆ 外国人県民あいち会議結果報告
- ◇ 東日本大震災被災地支援活動報告

ネストール・プノ 氏

(サギップ・ミгранテ・ジャパン代表)

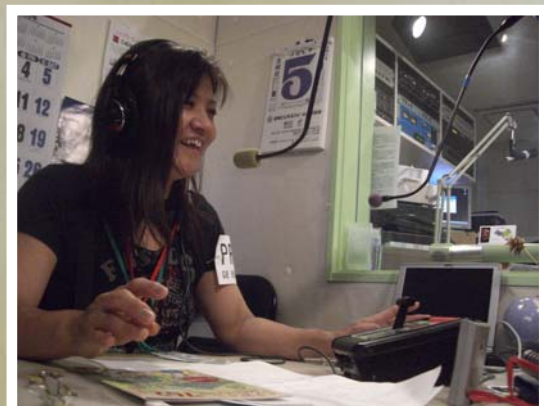
- ◆ 講演

『少数者が社会に発信する意義
—外国出身の住民の場合—』

吉富志津代 氏

(NPO法人多言語センターFACIL理事長、
大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授)

※プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



吉富志津代 氏



サギップ・ミ格蘭テ・ジャパン

【主催】愛知県 【後援】内閣府、総務省

プロフィール

◆ 吉富志津代

NPO法人多言語センターFACIL理事長。大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授。

1995年の阪神淡路大震災後に、外国人救援ネット設立や多言語コミュニティ放送局「FMわいわい」の発足に参加。

多言語環境の促進や、外国にルーツを持つ青少年育成を切り口に外国人自助組織の自立支援活動に従事。

◆ サギップ・ミгранテ・ジャパン (SAGIP MIGRANTE Japan)

東日本大震災直後、名古屋のフィリピン人コミュニティのリーダーやその支援者を中心に結成。

東日本大震災で被災した地域に住むフィリピン人を支援するため、現地の実態調査や相談活動、情報および物資の提供などを実施。



会場

ウィルあいち 3階 大会議室

名古屋市東区上豎杉町1番地

アクセス

地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分

名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分

基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分

市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分

※駐車場（有料）の台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

申込方法

参加を希望される方は、
氏名、住所、団体名、電話番号を明記のうえ、
右の宛先へ、郵便はがき、FAXまたはE-mailで
お申込ください。

定員を超えた後にお申込があった場合にのみ
ご連絡いたしますので、ご了承ください。

【はがき】

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室までお送りください。

【FAX】

参加申込書（FAX用）に必要事項をご記入いただき、
FAX番号「052-951-2590」までお送りください。

【E-mail】

「tabunka@pref.aichi.lg.jp」宛てに、

件名を「多文化共生フォーラム申込」としてお送りください。

参加申込書（FAX 用）

氏 名	
住 所	〒
団 体 名	
電話番号	

※お送りいただいた個人情報は、本フォーラムの運営のために利用するものであり、他目的では使用しません。